

千本桜から



小野町立夏井第一小学校
0247-72-2339
平成28年11月24日
学校便り 通巻 第74号
文責 校長 逸見健二



教育目標 【自ら学び、思いやりの心で、たくましく生きる子どもの育成】
『なかよく』 (徳)
『つよく』 (体)
『いっしょうけんめい』 (知)



「自分の命は自分で守る！」 ～ 避難訓練 ～

10月27日(木)に、田村消防署小野分署から講師の皆様をお招きして、避難訓練を行いました。

今年度2回目の避難訓練となるこの日は、訓練について事前の予告をせず、理科室から火災が発生したとの想定で行いました。業間の休み時間に、校庭や教室で遊んでいた子どもたちの中には、突然火災報知機のベルが鳴ったことに驚く姿も見られましたが、続いて聞こえてきた放送を立ち止まって聴き、指示された通りに、本部旗が立つ第一避難所である、藤棚の所に避難することができました。

「お(押さない)・か(駆けない)・し(しゃべらない)・も(戻らない)」を守ること、帽子をかぶることで頭を守ったり、ハンカチで口を押さえることで一酸化炭素中毒にならないように気をつけたりすること、火元から遠い経路を選んで避難することなど、子どもたちは、事前に教えられていたことをよく覚えていて、よく守り、しっかりと訓練に取り組むことができました。

その後、消防署の方のご指導のもと、代表の子どもが水消火器を使って消火訓練を行い、全員で消火器の扱い方を学習しました。「自分の命は自分で守る」。そのために、子どもたちには、火事や地震が起こったときの対応の仕方をしっかり身に付け、万一の時にそなえてほしいと思います。



講話 「千本桜のお世話」

～地域の宝について学ぶ～

11月15日(火)に、3・4年生が、河川愛護会長さんを講師にお迎えし、夏井千本桜について講話をお聞きました。

子どもたちも、地域の宝である千本桜については、身近な名所として総合的な学習の時間に学んでいます。講師の方は、千本桜の歴史やお世話の仕方などについて分かりやすく説明してくださいました。また、「花咲く水辺の会」などの千本桜を守るボランティアの皆さんのご活躍の様子や、高齢化が進んでおり、継承することの大切さについても学ぶことができました。子どもたちは、たくさんのお話を学ぼうと一生懸命にメモをとりながら、お話を耳を傾けていました。ご多用の中お出でいただき、内容豊かなご講話をありがとうございました。



田村地区作文コンテスト ～ 優秀賞、おめでとうございます ～

11月7日（月）、「第66回社会を明るくする運動 田村地区作文コンテスト表彰式」が、小野町勤労青少年ホームで行われました。6年生が、「優秀賞」を受賞し、大和田町長から賞状と盾を授与されました。その後、『明るい家庭から明るい地域へ』の題名の作文を発表しました。作文の内容は勿論のこと、堂々とはっきりと発表する姿は大変素晴らしく、民生委員の方々や地区の校長先生方からお褒めの言葉をいただきました。

作文の内容は、あいさつの大切さについて述べたもので、特に、「あいさつは、人と人とを仲良くさせ、お互いの心を明るくするものだ」と自分の地域を振り返って思いました。」という、夏井地区のあいさつの良さを訴える一文が心に残りました。これからも、家庭、学校、地域で元気で明るいあいさつが交わされるよう、学校でさらに指導を進めて参りたいと思います。



栄えある表彰 ～ 入賞おめでとうございます ～

<田村地区読書感想文コンクール>

特選 2年
1年

<田村地区児童作文コンクール>

準特選 1年 2年
3年

<私たちの防火標語 火災予防部門>

優秀賞 5年

<米の消費拡大推進ポスターコンクール>

優秀賞 2年

<税に関する習字展>

東北税理士会郡山支部長賞 5年

<交通安全ポスター>

優秀賞 2年 3年

<田村地区造形展>

推奨 (県出品) 2年 5年

特選 4年

